

第7回 日本一学生が活躍するまちづくり ワークショップ

日時：2025.7.16（水）18：30～20：00

場所：宇部市役所本庁舎3階 会議室3-3・3-4

宇部市は、令和7年度から学生の感性と行動力をまちづくりに反映させて“若者に選ばれるまち”を目指す「日本一学生が活躍するまちづくり」事業を開始しました。学生の視点・発案をまちづくりに反映させる仕組みを構築・実践するためのワークショップには、公募により選ばれた市内外の大学生約40人が参加し、最終回にあたる第7回を迎えました。

《グループワーク》

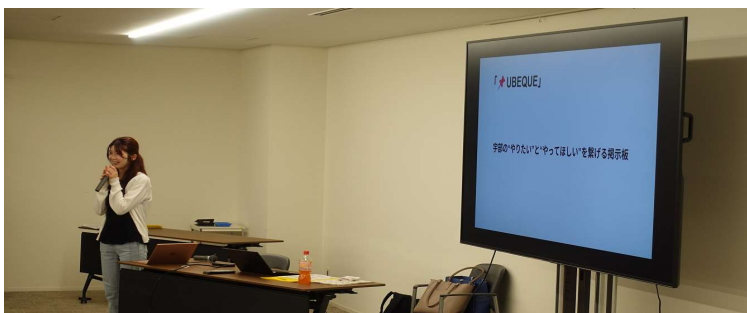
「日本一学生が活躍するまち・宇部市を目指して」

ワークショップとしての最終回にあたる第7回目は、参加する学生が市職員との意見交換を踏まえた、現時点での政策案を発表しました。

発表に先立ち、学生と市職員は前回に引き続き、チームごとに現時点の案について、実施する上での課題や必要となる要件などについて意見を交わしました。



意見交換の後、学生から、現状の奨学金制度では本当に支援が必要な家庭をカバーできていないとして、大学・短大・専門学校進学時の入学金などを支援する給付型の奨学金制度や、市内に医療系学生が多いことに着目した医療系学部の学生による相談室など、全部で15の案が発表されました。



それぞれの提案には、人や情報が集まる「プラットフォーム」の形成や、そのプラットフォームを活用するコンテンツの充実を図るなど、共通する特徴も見られました。



ワークショップに参加した学生は、10月下旬に予定されている最終発表に向けて、学生同士や市職員、提案の対象者などと意見を交換しながら、それぞれの提案をさらに具体化させていき、宇部市の事業としての採択を目標として、まちの発展を目指します。



ワークショップとしては今回が最終回となります。今後は各自で提案をさらに具体的に練り上げ、10月に最終案を発表する予定です。